

# Opinion poll for general adults and scientists & engineers\*

Hiroyuki NAGAYAMA (MRI)

Hiroyuki YOSHIDA, Yasuyuki FUKUMURO, Susumu SASAKI (JAXA)

## Abstract

It is necessary to acquire the Public Acceptance to construct SSPS. In JAXA, the opinion poll to general adult is regularly executed based on such recognition. The opinion poll to the scientists & engineers also executed last year. This purpose is to compare it with the technological forecast investigation (Delphi study) of National institute of Science and Technology Policy, MEXT. In this report, the result of the opinion poll that executed it last year is shown.

---

\* Presented at the Thirteenth SPS Symposium, 28-29 October, 2010

# 一般成人、及び技術者のSSPSへの意識調査\*

長山博幸（三菱総合研究所）

吉田裕之、福室康行、佐々木進（宇宙航空研究開発機構）

## 1. はじめに

SSPS を実現するためには、社会的受容性を獲得する必要がある。JAXA では、このような認識に基づき、一般成人のSSPSへの意識調査を定期的に行っている。昨年度は一般成人への意識調査に加え、研究者・技術者に対する意識調査も実施した。これは、SSPS に厳しい結果になっている文部科学省・科学技術政策研究所の技術予測調査（デルファイ調査）と比較するためである。

## 2. 各調査の概要

### (1) 一般成人調査の概要 (JAXA/MRI 実施)

- 調査対象 20 歳以上 64 歳以下の一般成人、約 1,000 名。
- 調査方法 調査票(質問項目)を作成し、インターネット調査会社に委託し、Web ページを利用して調査を実施。
- 回収数 回収数 1,000 名
- 調査時期 <第一回>2004 年<第 2 回>2006 年<第 3 回>2008 年<第 4 回>2009 年 10 月

### (2) 研究者・技術者調査(JAXA/MRI 実施)

- 調査対象 :大学院を卒業した、基礎研究・技術研究、技術開発・設計業務、調査・広告・宣伝、情報処理(システム)業務に就業している約 700 名。
- 調査方法 : 調査票(質問項目)を作成し、インターネット調査会社に委託し、Web ページを利用して調査を実施。
- 回収数 : 回収数 727 名
- 調査期間 : 2009 年 10 月

### (3) デルファイ調査(文部科学省)

デルファイ調査「2035 年の科学技術」は、文部科学省科学技術政策研究所が財団法人未来工学研究所に委託した調査であり、130 領域と各領域を代表する予測課題に対して、我が国の研究者、技術者など専門家 2,300 名に対してデルファイ法に因るアンケート調査を実施している。

2004-2005 調査では 2004 年 9 月～10 月、2004 年 12 月～2005 年 1 月にアンケートを行っている。

## 3. 回答者の概要

一般成人、及び研究者・技術者の回答者の概要を図 1 に示す。

---

\*第13回SPSシンポジウム、2010年10月28-29日に発表

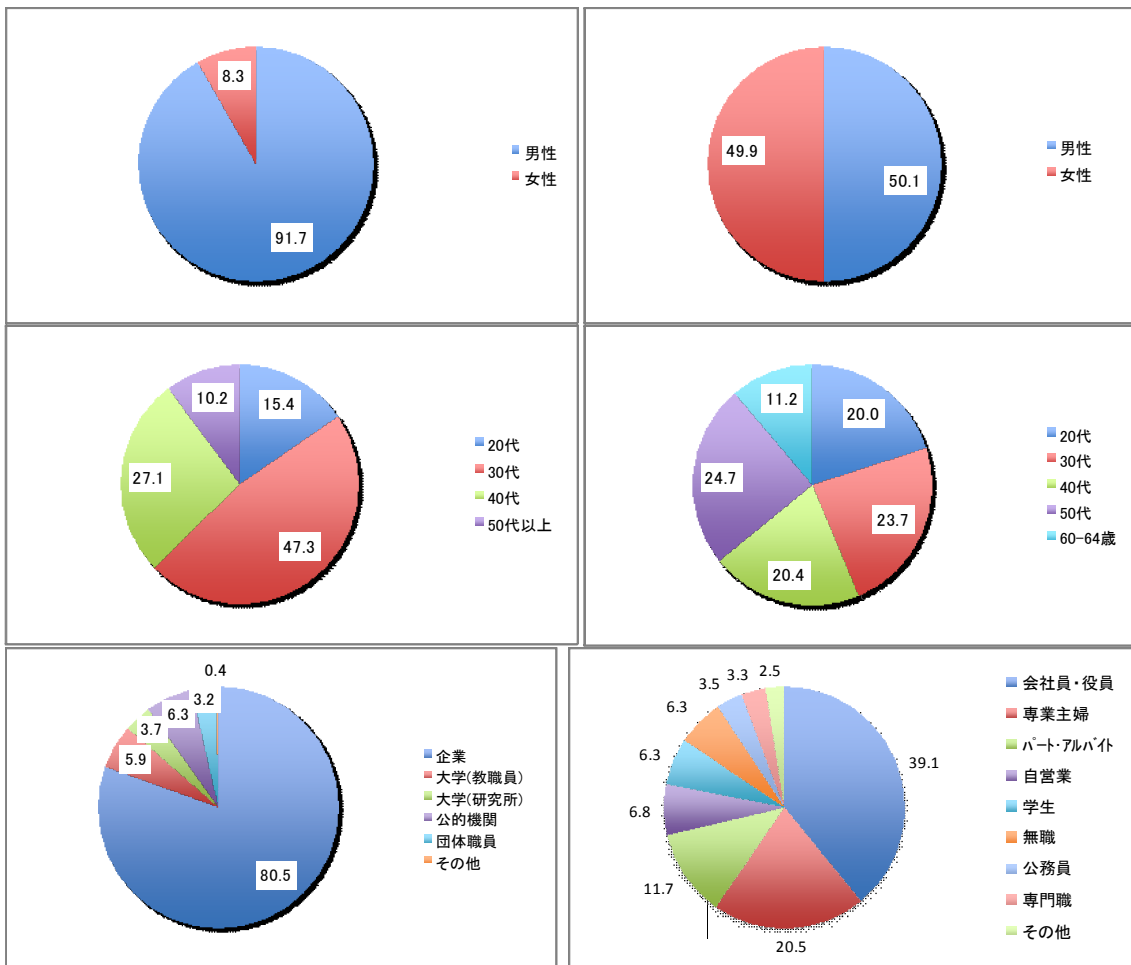


図 1 回答者の概要 (上段：男女比、中段：年齢構成、下段：職業構成)

(左：研究者・技術者、右：一般成人)

#### 4. 研究者・技術者と一般成人の比較

研究者・技術者と一般成人の比較を行った。

##### 4. 1 宇宙基本法の認知度

宇宙基本法の認知度に関しては研究者・科学者の認知度は一般成人に比べ二倍以上であるものの、3割には達していない。

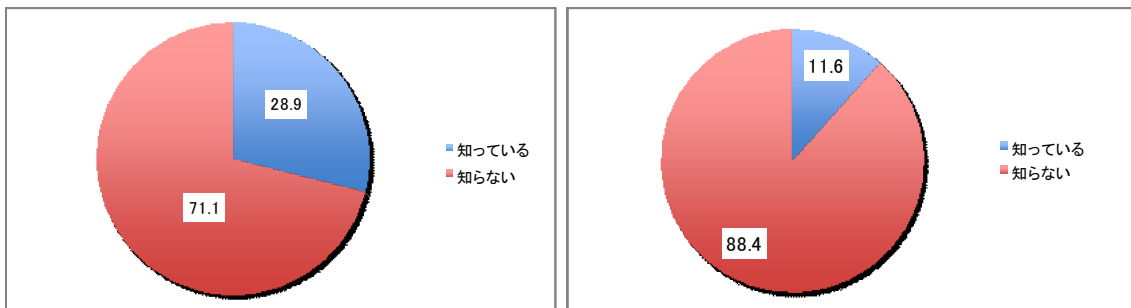


図 2 宇宙基本法の認知度 (左：研究者・技術者、右：一般成人)

#### 4. 2 宇宙開発の賛否

宇宙開発の賛否については、どちらも賛成者が多く、反対者の割合はほぼ同じ程度である。

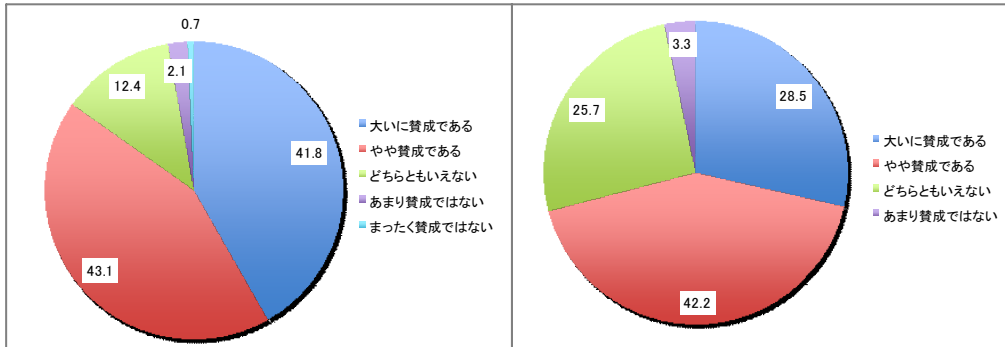


図 3 宇宙開発の賛否 (左：研究者・技術者、右：一般成人)

#### 4. 3 最も進めるべき宇宙基本計画のプログラム

最も進めるべきプログラムの順位は両者で異なっている。また、宇宙科学に関する評価も両者で異なっている。

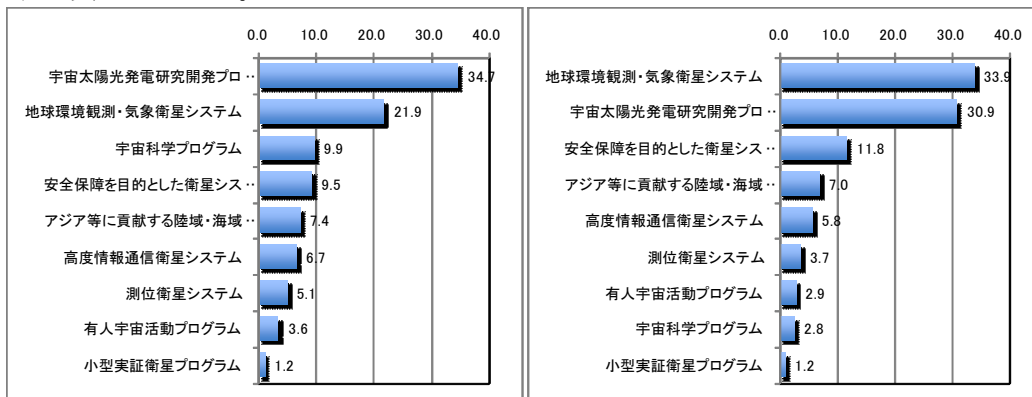


図 4 最も進めるべき宇宙基本計画のプログラム (左：研究者・技術者、右：一般成人)

#### 4. 4 SSPS の認知度

SSPS の認知度に関しては、研究者・技術者の認知度は一般成人に比べ高いが、4 割程度の方が全く知らないと回答している。

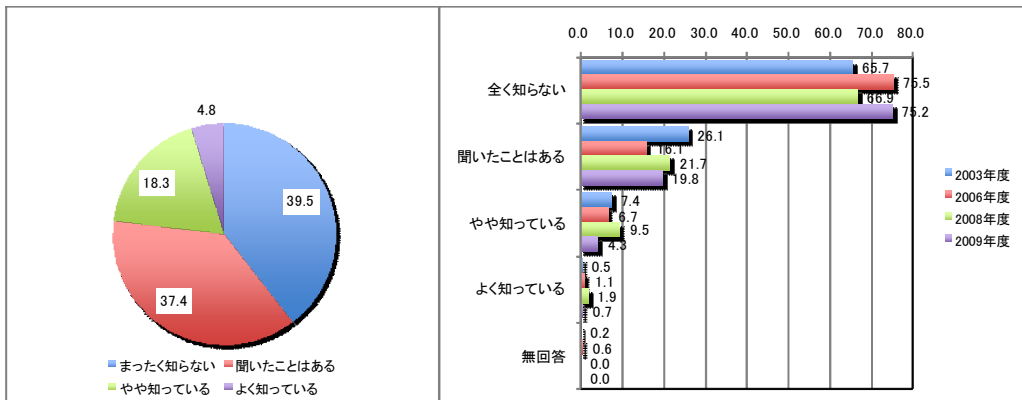


図 5 SSPS の認知度 (左：研究者・技術者、右：一般成人)

#### 4. 5 将来主力となる発電方法

将来主力となる発電方式は両者で異なる。研究者・技術者は現実的な解として原子力発電を一番に挙げていると思われる。

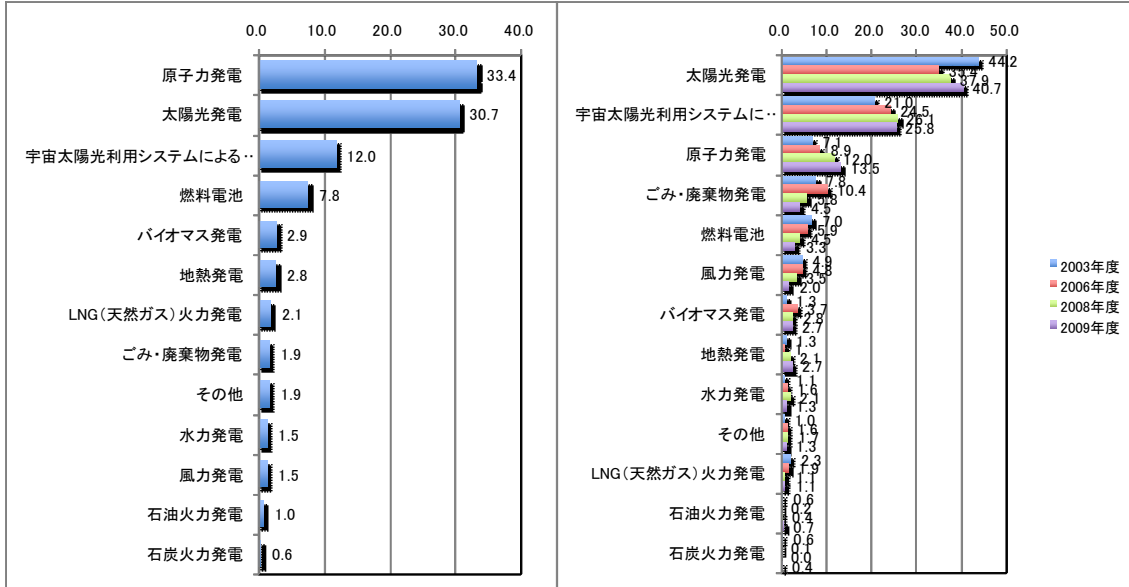


図 6 将来主力となる発電方法 (左：研究者・技術者、右：一般成人)

#### 5. まとめ

##### 1)一般人の意識

宇宙基本法・計画の成立・策定を知っている人は、1割程度と低く、現状ではこれらがSSPSへ与える効果はない状態。

しかしながら、宇宙基本計画にある9つのプログラムの中で、最も進めるべきプログラムとして、「B. 地球環境観測・気象衛星システム」に続いて第2位となっている。

SSPSへの支持は、これまでのアンケート同様に高く、特に性別では「男性」、年代では「50代」に支持されている。

認知率に関してみれば、宇宙基本法・計画の認知率は20代において高い傾向にあったが、SSPSの認知率は50代で高く、「宇宙」に関する関心が宇宙基本法・計画の認知には関連があり、「環境」への関心がSSPSの認知に関連していることが推測される。

##### 2) 研究者、技術者のSSPSについての考え方

「SSPSに対する意識」においては、一般成人に比べ、大学院卒の研究者、技術者の方がSSPSについて知っており、将来のエネルギーについては、「原子力」を第一に挙げている点などが特徴的である。これ以外の項目では、一般成人と大きな傾向の違いは認められず、大学院卒の研究者、技術者のSSPSに対する意識や態度が厳しいということはない。

#### 参考文献

- 1) 三菱総合研究所：平成21年度宇宙航空研究開発機構委託業務「LSSPS設計検討チーム支援及びSSPSの社会的側面の調査」, 2010.
- 2) 文部科学省科学技術政策研究所：2035年の科学技術—文部科学省デルファイ調査, 2005